



「人」と「人」との繋がり

賀山 和男

学校生活を通して、一番大切だと感じたのは、「人と人との繋がり」でした。現場では利用者の方を知ることができないと、何を行ったらよいのか、家族の方に何をお伝えしたらよいのか、他職種の職員の方とどう連携をとるのか等、何も自分の責任を果たす事が出来ないのです。

繋がりを大切に。

これから介護を目指す方は、自分の家族、友達、先輩後輩、先生等を知り、人間関係を上手に築いていけば、将来に必ず活かされると思います。業務を行うのではなく、繋がりを大切にして下さい。

賀山 和男（平成19年度卒業）
就職先：特定・特別医療法人明和会医療福祉センター
鳥取湖陵高卒業

介護実習を経験して

衣笠 いづみ

入学してこれまで二度の介護実習を経験しました。実習の中で、専門的な知識や技術を身につけることはもちろん、利用者の方と信頼関係を築き、家族のような存在であることも必要ではないかと感じました。

利用者の方との信頼関係で、家族のような存在であること。

利用者の方との関わりを大切にし、利用者の方の思いを読み取り、自立や生活の質を向上出来る介護福祉士になりたいと思っています。



衣笠 いづみ（2年生）
鳥取女子高卒業

先輩達からの言葉

物語

FUKUSHI STORY

他の人の生活に関わっていくことは大変でもありますが、それ以上の喜びや、やりがいを感じる事ができます。



「ありがとう」の一言

福光 真美（平成15年度卒業）

私が卒業して、早いもので5年が経ちました。当時は、仕事に慣れるのが精一杯で毎日とても忙しい日々でしたが利用者の方の「ありがとう」の一言に支えられて頑張ることができました。

人の生活を援助していくこの仕事は大変ですが、目標を達成できた時の喜びは大きくやりがいも感じます。辛い時もありますが、これからも利用者の方と一緒に笑って過ごせるケアが、提供できるよう努めていきたいと思っています。

福光 真美
医療法人 清和会
介護老人保健施設 うつぶき勤務
倉吉農業高卒業

介護福祉という職業に出会えて、自分自身の成長を実感する事ができています。誇りを持てる職業です。

絶対に後悔はしない道

松尾 武蔵（平成15年度卒業）

学校を卒業し、介護福祉士として働きだし5年になります。初めは、介護福祉士という職業があることを知らなかったのですが、母親の紹介で知り、興味を持ち入学することを決めました。現在は学校で学んだことを活かし、利用者の方にとってよりよい生活を送っていただけるよう、ユニットケアを取り入れながら介護を頑張っています。興味のある方は、このやりがいのある道に進んでみれば、絶対に後悔はしないと思います。

松尾 武蔵
社会福祉法人 やす
介護老人保健施設 すこやか勤務
鳥取工業高卒業

